第6回　11月17日（日）
フィールドワーク概要のお知らせ

第6回のフィールドワークは「地域循環共生圏」をテーマに【水杜の郷】を視察します。
今回は【水杜の郷】のご厚意で、東京駅と現地の送迎、昼食弁当をご用意いただきます。

既にお申し込みの方以外にもご参加可能ですが、バス及び弁当準備のため、10月18日（金）までにJFEJ事務局（ jfej@gef.or.jp ）までご連絡ください。
※講座参加費2000円（学生1000円）は別途申し受けます。

【日　程】※内容は現在の予定です。
※集合場所の詳細は後日ご連絡となります。

11月17日（日）9:20までに集合のこと
9:30　東京駅出発
11:00　現地到着
＜水杜の郷＞　http://mimorinosato.com/
11:00～　施設説明
＜昼食＞
13:00～　視察、質疑、意見交換
15:00　現地出発
16:30　東京駅にて解散

【申込　/　お問い合わせ】
※全回申込の方、第6回お申し込みの方は新たな申込不要です

日本環境ジャーナリストの会（JFEJ）事務局　上野川
E-mail　jfej@gef.or.jp　　電話　03-5825-9735

URL　**https://business.form-mailer.jp/fms/a81c2634108748**

JFEJ
JAPANESE FORUM OF ENVIRONMENTAL JOURNALISTS

令和元年7月

日本最大級の
ソーラーシェアリング

農業生産法人水杜の郷㈱

事業概要説明

つくば市概要紹介、環境への取り組み

- 筑波研究学園都市は東京から北東に約50Km,成田国際空港から北西に約40Kmの距離に位置する人口約23万人の特例市である。現在、我が国の訳3分の１の国等の研究機関や、多くの民間機関・企業が立地する国際研究開発拠点として成長しつつある。
- 2005年には、つくばエクスプレスが開業し、沿線では新たな街づくりが進んでいる。
- 2008年に、市民、企業、大学・研究機関、行政が一体となり、オールつくばで連携して低炭素社会づくりに取り組むため、2030年までにCO_2の排出量50％削減を目標に「**つくば環境スタイル**」を打ち出した。2009年には全員参加と協働を目標の一つに、5年計画の具体的なアクション51施策を定め、低炭素の取り組みを進めてきた。
- 2013年3月15日に、国から、温室効果ガスの大幅削減や高い目標を掲げ先駆け的な取組にチャレンジする「**環境モデル都市**」として、つくば市が選定されました。
- **つくば市は農業も盛んでおり、芝の生産量は日本一であり、北条米、ブルーベリー、ネギ等生産されている。つくば人参は日本生産量一を目指して日々努力してます。**

耕作放棄地問題解消とソーラーシェアリング

耕作放棄地の増加

- 全国では耕作地面積449.6万Ha　⇒　耕作放棄地　42.3万Ha
- つくば市耕作地面積1.03万Ha　⇒　耕作放棄地　352Ha

◆ 2012年再生可能エネルギー固定価額買取制度（FIT）開始。

◆ 2013年3月に農林水産省が指針を発表し、営農を継続するなどの条件を満たせば、太陽光発電設備用の支柱を立てる農地について、一時的に転用が認められました。通常は農業以外の用途とすることが認められない 農用地区域内農地・甲種農地・第1種農地 でもソーラーシェアリングは設置可能です。

◆ 2018年5月、一時転用に関する規制緩和が行われ、現在は、一定の条件を満たす場合に限り、**転用期間が3年から10年**に延長されました。

農業生産法人水杜の郷はつくば市の水守、山木地区において、高齢化などの問題で農業従事者が減少し、耕作放棄地が増えている状況の中、同地域の協力並びに**中国上海電力日本㈱**の協力を得て、この地に54Haのソーラーシェアリング事業に取り組むようになった。
水杜の郷ソーラーシェアリング事業は耕作放棄地問題の解消と地球温暖化防止並びに地域活性化に貢献している。

水杜の郷会社案内

◆社　名：農業生産法人水杜の郷株式会社

◆設立日：平成26年6月18日

◆資本金：7000万円

◆事業内容：農産物の生産販売、農産物を原料とする食料品の製造販売、農産物の加工、貯蔵、運搬及び販売等農業生産活動に関連する事業。

◆代表取締役：宇津野　智行

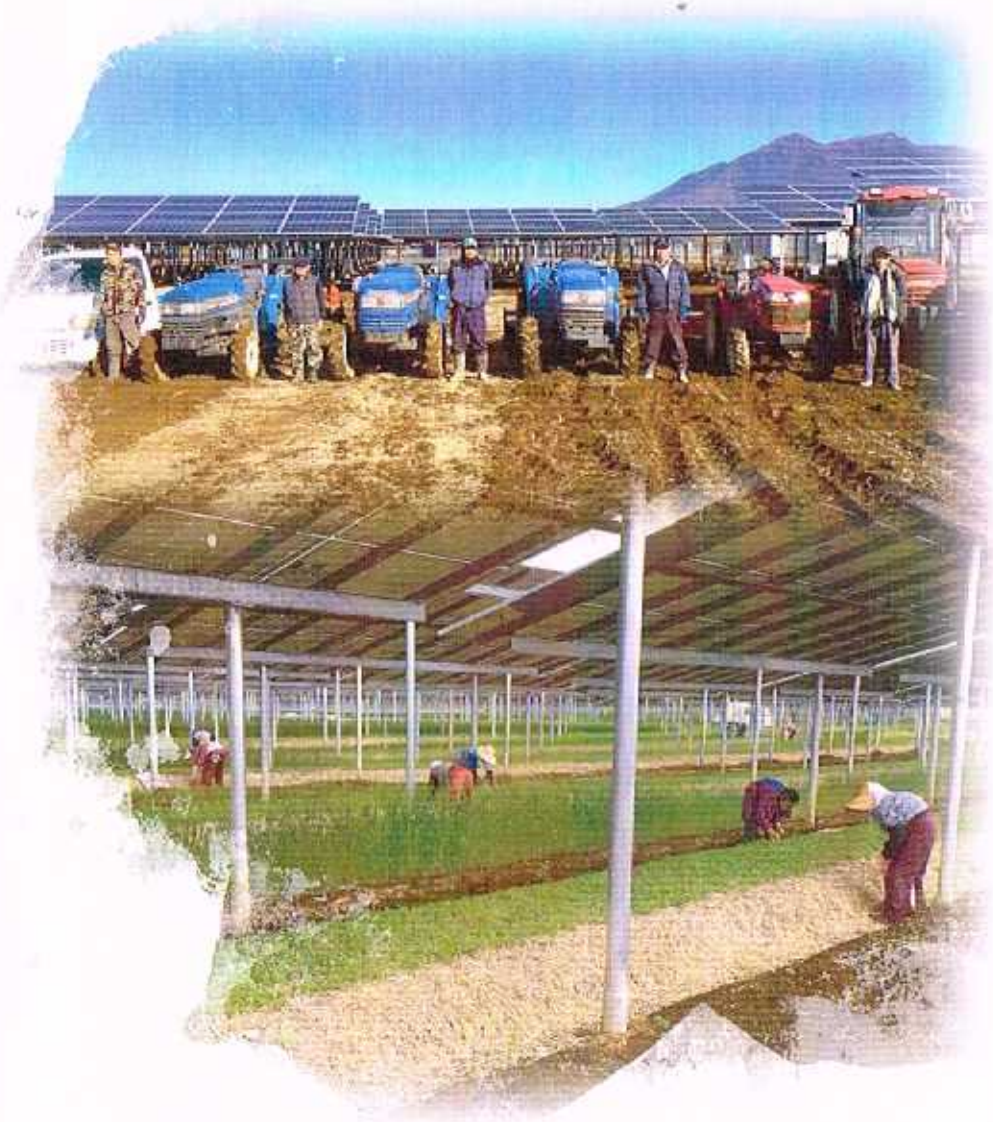
◆従業員数：20名

◆住所：茨城県つくば市吾妻三町目1番地１

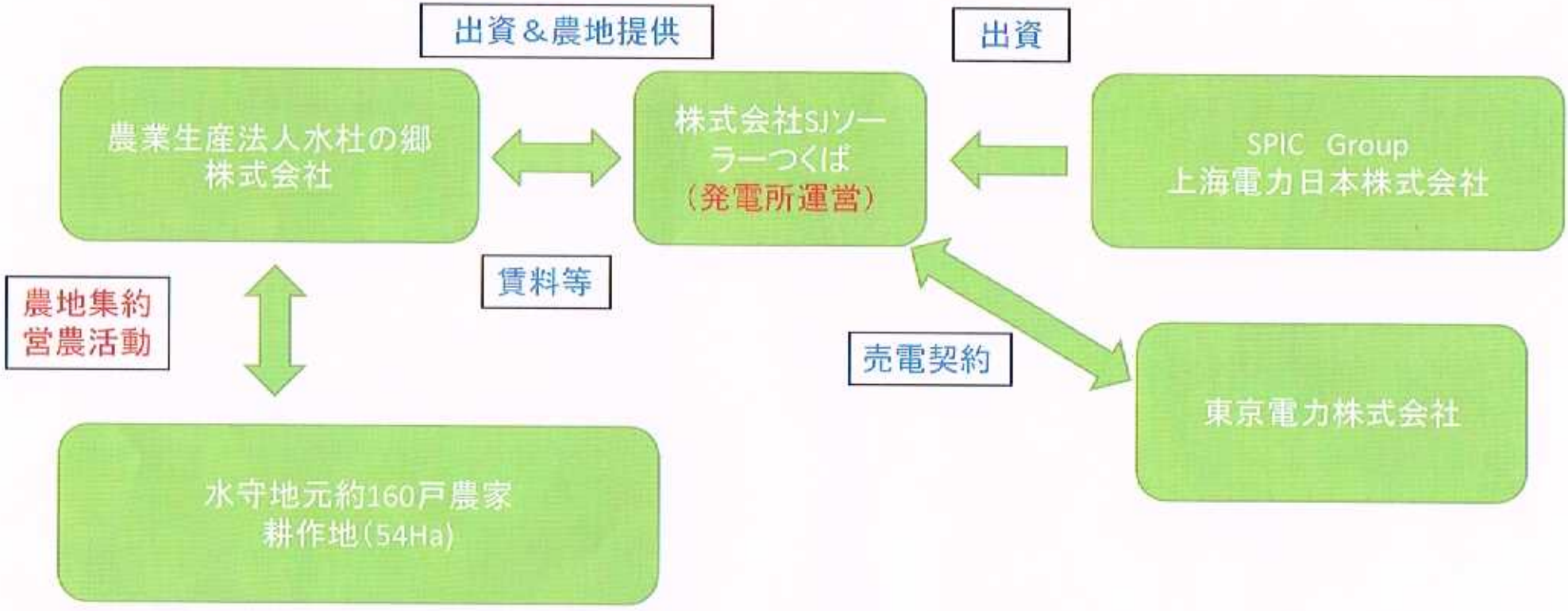
◆現場住所：茨城県つくば市水守2129番地

◆TEL：029-828-8286　FAX:029-828-4884

◆http://mimorinosato.com/



「水杜の郷」関係図



出典：関係者への聞き取り調査により筆者作成

発電事業概要

発電事業者	株式会社SJソーラーつくば
発電出力	**36MW**
発電開始	2017年4月1日
建設費用	**約120億円**
太陽光パネル	265W×約12万枚
総面積	**約54Ha**
売電収入	12億円/年（年間予想）
売電先	東京電力

☆約12000世代分の電気使用量を発電してます。

水杜の郷の営農状況及び地域連携

営農状況（現在）

作目別	栽培面積（㎡）	収穫予想（Kｇ）	年間目標（㎡）	収穫予想（Kg）
西洋人参	25000	作付け2年後	25000	8000
高麗人参	14000	作付け3年後	14000	6000
麦/燕麦	54000	3000	283000	59000
ドクダミ	7000	160	15000	2000

☆収穫高は天候、自然災害等に左右されやすいため、あくまで参考値。

地域連携

- ◆ 雇用創出：地元地権者を主に20名常勤、農繁期はつくばシルバー人材雇用累計で1500人以上
- ◆ 借地代金：約5000万円/年（10万円/10a/年）
- ◆ 茨大農学部共同研究：パネルの下での付加価値の高い作物栽培研究（サイコ、ニンニク、鳴子百合等）
- ◆ 地元特産品に向けて：つくば人参ブランド創出、6次化推進による地域活性化

水杜の郷を訪れた要人及びマスコミ関係者

- ◆中国程永華駐日全権大使
- ◆ベトナムニントン省副書記長
- ◆中国中電投資集団（SPIC)王炳華会長
- ◆上海電力有限公司王運丹会長
- ◆厚生労働省、農林水産省視察
- ◆韓国、台湾企業の関係者多数

- ◆テレビ朝日
- ◆産経新聞社
- ◆中国中央テレビCCTV
- ◆千葉テレビ